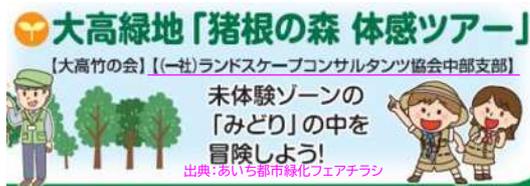


(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部

「あいち都市緑化フェア共同出展」報告

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部では、第 37 回あいち都市緑化フェア(愛知県主催)に、地元の緑化ボランティア団体「大高竹の会」との共同で自然体験プログラム「猪根の森体感ツアー」を出展しました。



出展行事名：『みどり』のお勉強～フィールドプログラム～ 大高緑地「猪根の森 体感ツアー」

開催日時：令和7年4月29日(火・祝)

午前 10:30～(60分) 午後 13:30～(60分)

場所：大高緑地 若草山芝生広場本部(受付)、猪根の森(対象地)

参加者：午前 5名 午後 6名

スタッフ：27名 大高竹の会：20名

CLA 中部支部：7名

吉田顧問、三浦顧問、則竹支部長、風間幹事、岩田幹事、
木村(幹事代理)、串原(幹事代理)

実施概要：

大高緑地「猪根の森 体感ツアー」は、大高竹の会のメンバーが活動している森を案内する約 1 時間の体験プログラムです。「猪根の森」は、地元の緑化ボランティア団体「大高竹の会」が愛知県および公園管理事務所のサポートを受けて森づくりのプランを作成し、協働で森づくりに取り組まれている森です。

開催当日は風がやや強かったものの、晴天での開催となりました。当協会はツアーに同行し、ガイドのサポート役として、森に生育植生している樹木の説明などを行いました。



「猪根の森 体感ツアー」本部受付テント



再生活動状況の説明

午前のプログラムは5名、午後のプログラムは6名で、合計 11 名の参加者がありました。

大高竹の会から大高緑地の歴史、活動開始前の森の状態、竹の伐採や森づくりの手法などの説明を受け、名古屋市内最大級のヤマモモや森のシンボルであるヤマザクラの巨木などを見学しました。また、コナラ林再生区やモウソウチク林再生区などでも、再生活動当時の苦労したことなど貴重な話が聞けました。

参加者からは、「大高緑地の歴史や植生について勉強することが出来た」、「時間を忘れて楽しく歩けた」、「樹木について楽しく知ることができた」などの声がありました。このような参加者の声は、プログラムを実施した大高竹の会や当協会への大変な励みとなります。



参加者に大高竹の会から竹炭をプレゼント